いわき民報
發行所　いわき民報社
平市田町一番地（電話三八一番）
編輯兼發行人印刷人　千輝克己
日刊（但月曜日を除く）
定價一ヶ月　參圓　一部十五錢

今秋には五十隻進水か

漁區擴大に活況の磐城七濱　船腹の新造發註も頗る旺盛

磐城七濱の漁業界では終戰後鋭意〝水產福島〟の再建を目指し努力中だが、今度對日理事會の決定に基いて、近海漁業のみでなく遠洋漁業にも乘出し得ることになり漁區の大擴大をみるに至つたので、俄然活況を呈し早くも縣遠洋漁業組合の結成その他をみることになつたが、戰時中漁船の建造は中絶狀態に置れたばかりか、優秀船は殆んど徴用された揚句、海底の藻屑と化したり無事歸つても破損甚しく殆んど使用に堪えぬ狀態なので先づ漁船の建造が第一と各船主とも新造船を急いでゐる有様である、然し磐城各濱の要求造船は江名、四倉、小名濱の三造船所だけでは到底解決し得ぬため縣外造船所へも註文を發してゐるが江名漁業會關係だけでも大型船（七五噸―百噸級）三隻、中型船（七〇噸―五〇噸級）三隻、小型船（二六噸―三〇噸級）九隻の十五隻に達して居り又四倉漁業會でも三十噸級二隻を夫々岩手、茨城の兩縣へ發註してゐるの外小名濱でも江名同樣、大型、中型船合せて十五、六隻を註文してゐる、これらは何れも郡内三造船所で建造中の大型三隻、中型一隻、小型十三隻の計十七隻と共に八月頃迄には建造進水の豫定とあるので今秋迄には最少限度五十隻見當の新造船が浮び出る譯で大きな期待がかけられてゐる

譲る
棒炭製造機械一式
値段其他面談の上
開盛館
平市田町五　電五七〇番

粉食時代への朗報

簡易電氣パン蒸器の製作に　第一通信工業が見事に成功

文字通り危機に突入した食糧事情に對處し、これが突破の一助にもと平市新川町第一通信工業株式會社では、先般來會社の技術陣を總動員、家庭用簡易電氣パン蒸器の製作を研究中だつたが、苦心の甲斐あつて今度見事に製作に成功、いよ／＼大量生產に乘出し、市郡民に奉仕することになつた、右製パン器は電氣利用ながら操作極めて簡便、危險性も絶對になく子供でも樂に使用し得るばかりか電氣も食はず、三分程度で如何なるパンも美味しく蒸し得るもので世を擧げての粉食時代によき朗報として注視されてゐる、尚特徴は蒸器と電氣コードの接續部分に特殊の裝置を施して簡單に取外しが出來る點で、値段もコードブラク付で一般小賣六十圓程度の廉價の大衆向のものである、同社では奉仕の意味で殆んど實費程度で販賣する計劃であるから是非各家庭に一個宛備へて粉食を完全に果し窮迫した食糧事情の切り拔けに万全を期して貰ひたいと語り近く大量市場に出すことになつた

生產危機突破決議

勞組の企業參加を前提に

常磐礦山勞組　擴大執行委員會

常磐礦山勞働組合では生產危機の突破、產業の再建復興の渉々しくないのと政府の無爲無策に愛憎をつかし、これが解決は現在の資本家による無政府的生產樣式を急速に社會主義的な生產樣式へ移行させる外なしと二十三日平市仲町の事務所に第六回擴大執行委員會を開いた結果、總同盟擴大中央委員會を全面的に支持して左記各項目の實現を期することを申合せ、二十五日所屬各礦勞組へ指令を發し、即時實行に向ひ邁進せしめることに決定した

一、勞働協約運動の普及徹底と勞組の企業參加の促進　二、生產增强運動、企業經營の合理民主化　三、一切の死藏資材の活用と偏在是正　四、基本原料資源の開發と輸入促進　五、工場生產力と設備、材料勞力の自由的調査　六、生產アナーキー打破計劃生產に基く重點生產資材の重點配給の强化　七、資材設備の地方ブロック間の交流　八、接收工場企業と休業工場の轉換と失業對策　九、計劃經濟に基く產業機構の再編成　十、勞働者、技術者及職員の技術教育運動　十一、勞働者の生產意欲の昂揚　十二、諸官廳及民間企業の民主化　十三、食糧の重點配給待遇改善　十四、一切の封建制度と封建勢力の打破　十五、中央地方の產業復興會議の確立

常磐交通も勞組結成

慰安會を兼ねて

常磐交通自動車株式會社ではかねて委員を擧げ準備中の從業員勞働組合結成大會を去る二十二三日の兩日新舞子で開催、終つて從業員の慰安地引網等も催したが役員は左の通り

▽組合長野崎理夫▽副組合長小橋宗像▽委員戶田賢二、八卷一、小島孝一、田中竹久、石井儀治、鈴木仙壽、淺沼末四郎、鈴木利夫、大谷淸、野崎降之亮、野崎利之、永沼光雄

大道異變

平　中　青二

▼『花の都とは良く云つたもの華やかで人を引きつける。が、どうせ散るべき運命をもつ』と云つて都會文化の脆弱性を詠歎した文學者があつた。▼農村から都會を憬れて流れ出た青年男女の群は、正に前者を雄辯に物語る。都會は流行の尖端を行く著物の模樣に、映畫に、歌に、髮の形に。學校でさへも都會の學校が良いとされた。▼然るに都會的產地としての結核女工や――青白きインテリが――悲しき敗殘の姿を農村に移し、今日の敗戰の苦盃を傾けたのは、一に散りゆく花の姿そのものと云ふべきであらう。▼殊に戰爭中の疎開騷ぎは言ふに及ばず、餓死者の續出、買出し部隊の殺人的な進出等々、眞に根としての農村の存在價値を證明してゐる。▼然し、農村と都市の關係を、斯の如き根と花との關係として結論することは、頗る危險ではあるまいか。物事の眞相は徹底的に達觀するを必要とする▼確かに花は散る。永遠の相ではない。都會は花であると云へよう。だが花は花でも實の成る花であり、その實はやがて地に落ちて芽を出し、根を生ずる花であることを見逃してはならぬ▼農村の生み出す食糧が、增產の原動力であり、道義の支柱であり、政治問題の大部分を占めると云つても過言でない程、重大な存在となつて來たことは事實だ。▼それと共に、都會的な生產物としての肥料や農器具や衣料を、農村に落すことに依つて、食糧增產の新らしい芽が吹き、根が張るといふ、自然の妙諦を認識して、利己心をすてゝ素直に物資を廻すべきであると思ふ。

借家人代表も加へよ

平借家人同盟から裁判所へ

――横暴不正家主連の申立て却下も――

平借家人同盟では住宅難につけ込み利益にのみ目をくれて、立退き要求をなし果ては裁判騷ぎまで惹き起す向が尠くない上、調停員もたゞ何とか調停適當の立退料でも支拂はしめれば足るといつた態度でゐる者が多いがかゝる形式的調停は既に過去の遺物たるのみでなく、こんな態度では住宅難の緩和どころか、逆に住生活を脅かすものであるから、裁判所當局に於いてもこの點をよく檢討、苟くも不當と認める立退要求は取りあげず却下、惡家主をして目的を遂せしめぬやう取計ふ一面、二名の調停員中一名は必ず借家人側代表を加へ、調停の明朗化を期するやうにされたいと今度裁判所當局に懇請することに決定、一兩日中に三森委員長を始め代表が平支部裁判所へ出頭することになつた、問題が問題だけにこの結果は各方面から非常に重視されてゐる

教育分會五班總會

郡教育會分會第五班では二十八日午前十時から澤渡國民學校に總會を開き、視學官の講演及び教科書取扱ひに關する文部省の方針の傳達、その他會員の各種研究發表や協議が行はれる

平市常會

平市常會は二十五日午后一時より日本間に開き左の各項に就いて協議した

▼麥類、馬鈴薯供出促進▼引揚者援護週間實施▼住宅緊急措置▼衛生週間實施▼要保護世帶一齊調査實施▼水道使用節約▼愛谷江筋等に塵芥投入禁止▼盂蘭盆會執行

住宅緊急措置協議

郡の住宅緊急措置令に關する打合せ會は各町村關係職員三十余名を召集二十八日午前十時から地方事務所で開く

引揚者援護週間打合せ

七月一日から二十日迄の外地引揚者援護週間に當り平市では各區内會長、學校長勤勞署、保健所、引揚者磐城聯盟等々の關係者を網羅して實施方法その他に就いて二十五日午前十時から日本間で協議會を開いた

青梅の割當

但平市民に配給

郡農業會では平市民に梅干用として配給すべき青梅の町村割當をこの程左の如く決定した、然し本年は梅の出來は余り良好でない上に、先般の强風で叩かれたので、果して割當通りの入荷を期し得るかどうか憂慮されてゐる（單位貫）

泉五〇、渡邊三〇、山田一五〇、錦五〇、勿來一八〇、上遠野一五〇、川部五〇、田人一〇〇、高久一〇〇、磐崎三〇、好間五〇、赤井八〇、草野五〇、大浦八〇、四倉三〇大野一〇〇、上下小川五〇、平市三〇〇、計二、〇〇〇

水の節約を

市水道課の注意

水不足は相變らず深刻化し、小名濱、湯本等々の上水道も殆んど涸渇の狀態にあるが、平市は上流に取入口を有する關係から未だ何等の不自由を來してゐないが、このまゝ旱天が續くときは今夏は水不足に當然喘ぐことは明かなので市水道課では、今から市民は注意して極力水を節約して欲しいと二十四日注意を發した、尚市の一ヶ月間の水の使用量は十三萬八百三立方米とある

いわき言

▼磐城七濱も對日理事會で、漁區が擴大されたのですつかり活氣づき、造船發註頗る旺盛とある、水產福島のために喜ばしい限り、造船により七濱の漁船が太平洋に存分の腕を振ふ思つてみただけでも心が躍る。▼平借家人同盟で不正家主の店子いぢめの立退き裁判はどし／＼却下すると共に、調停員二名中の一名は借家人代表とせよと叫ぶ、眞に尤も至極な言分ではある、それ程に横暴家主が多いのは同胞愛の缺如に基くか。▼街にゴミ箱あさりの佗しい姿が殖えた、食糧危機いよ／＼深刻に迫り來る、議會で徒らな論議に花を咲かせるより一日も早く急所／＼への必至の手を打て、議會が國民の信を失ふところはこゝにあると知れ

工員募集

一製罐工　若干名　年齡二十歲ヨリ四十五歲迄
一鍛造工　若干名　年齡二十歲ヨリ四十五歲迄
一雜夫　二名

復員軍人　海外引揚者　特ニ歡迎
給料其他面談
希望者ハ履歷書持參ノ事

▽製作品案內▽
船舶用金物、造船船釘
油槽タンク、建築金物
內燃機並ニ諸機械器具修理
電氣並ニ酸素熔接

小名濱町字古港一九六
福島船舶金物有限會社
社長　佐藤卯之助

製材木羽屋根葺工事請負
格安ニ葺ケル木羽屋根工事ノ材料一切當方持チニテ御相談ニ應ジマス
織田木羽板平工場
織田時松
平市材木町一三　電話六八番

生活の最低水準維持は？
＝困窮者の緊急援護對策とは

圓の切換へも生産面がこれに伴はぬため悪性インフレへの逆行の様相は把憂から今はまつたく深刻な現實と化し失業者は街に溢れ、衣生活に、食生活に、住生活に破綻は遠慮なくその魔手を伸ばし、持たぬものを絶望のどん底に叩き落してゐる、今や國民生活の最低水準を維持することは大きな悩みの種となつてゐる、市及び郡地方事務所でもこの点に關しては頭を悩まし、生活扶助に、生業扶助に醫療助産扶助等々の策を講じてゐるがその方法はどんなものか？市社會課に引揚者、戰災者及び一般の生活困窮者に對する緊急援護對策を聽いてみる――

生活扶助の限度は
市部一人二百卅圓、郡部百九十圓

先づ生活扶助は左の如き限度に於て給與金を支給してゐるが、金で給與すると弊害を伴ふ場合も尠くないので出來る限り現物給與方法を執ることになつてゐる、この給與はカード階級、引揚者、戰災者等々の區別せずに一律に行つてゐる又葬祭の場合には別に一件に就いて百圓以内で扶助してゐるがたゞ母子保護法に該當する者の埋葬には保護法に基いての支給額の不足額のみを給することになつてゐる、更らに醫療、助産については國民健康保險組合の診療報酬に準じて扶助し、診療券及び助産券は方面委員等の關係者に豫め配布して置いて必要の際即座に給し得るやうに努めてゐるとある

（括弧内は市以外の町村單位圓）

◎市部一人二三〇（一九〇）二人三九〇（三二一）三人四八〇（三九三）四人五七〇（四七〇）五人六四〇（五四〇）六人以上一人增毎に六九（五六）

被給與者の共同化を
生業扶助對策に

一方生業扶助に就いては一人に對し四百圓以內で資金の給與及び器具資料の給貸與を行ひ又技能修得に在つては一人當りに一圓三十五錢以內で給與するが、昨今の物價狀況等からみてこれでは單價が低きに失する嫌があり、十分その目的を達し得ないので、給與に當つては成るべく同條件下の被給與者を共同せしめて經營資金の集積をはからしめてゐる

卑屈な感を與へるな
各方面の全面的協力を特に望む
平市社會課の談

右について市社會課では語る

要救護者の認定は町內會長、部落會長等の協力の下に方面委員をして適正な調査の上方面委員會に諮つて決定してゐるが、方面委員だけでは無理であり、今日までの成績は僞りないところ余り芳しくないので今後は教育者、宗教家、醫師、保健婦、婦人團体等々多方面の協力を得て遺憾なきを期すると共に、援護に當つては相手をして卑屈な感を抱かしめないやうその取扱ひに格別の留意をなす一面に於いては援護になれしめることなく援護を土臺に飽迄勤勞を通じ自立の生活を營ましめるやう積極的な指導にも努めてゆき度いと念願してゐる、一般市民諸君も是非協力して欲しい最後に繰返すがこの援護は國民生活の最低水準の保障にあることに考へを致して被給與者も恥づることなくこの給與を土臺に立上るやう心掛けていたゞきたい

縣下の覇權　日製へ
鐵工軟式野球大會

縣鐵工機械工業會主催の縣下軟式野球大會は二十二、三の兩日福島經專球場で縣下五十五チームから選拔された七チームで開催したが左の通の戰績で湯通會で優勝した常磐製作所は惜敗したが、二位の日立製作小名濱工場チームが見事郡山專賣局を一蹴し優勝、覇權を獲得した

▼準々決勝
日東福島4―1常磐製作
郡山專賣局5A―1昭和電工
日立製作5―3日東郡山第二
▼準決勝
郡山專賣局3A―1日東福島
日立製作5A―2本宮製作
▼決勝戰
日立製作7―1郡山專賣局

河村大坪組優勝
市郡下軟式庭球

スポーツ聯盟庭球協會主催の市郡下庭球大會は二十三日磐女コートで開催、參加三十二チームで熱戰展開後引揚聯盟の河村大坪組が優勝した

▼準決勝
宇留野（引揚）猪狩（聯盟）4―0 小松（平俱）佐々木（俱）
河村（引揚）大坪（聯盟）4―2 小林（勿俱）木原（俱）
▼決勝
河村大坪 4―6 4―2 5―3 6―4 4―2 宇留野猪狩

ヤマの街に咲く
美しの人情話一つ

ヤマの街湯本に咲いた美談一つ―去る十一日夜も十二時頃湯本町新町佐乃屋前で泣き暮れてゐる母子四人がある、この夜更けにと不審を抱いた佐乃屋で四人を入れて事情を聽くと大阪府中河内郡柏原町大谷フク（四九）さんと長女千鶴惠さん（二二）二女洋子さん（一五）長男勝春君（一二）でフクさんは食糧のない大阪で暮すよりは嫁千鶴惠さんが湯本の常磐炭礦湯本礦嶽の山の某家に嫁いでゐるのを幸に、湯本で母子仲よく暮さうと同夜十時着の終列車で洋子さんと勝春君を連れて嶽の山まで訪ねたところ千鶴惠さんの舅久吉さんがよく來た上れどころでなく、米の不足の時三人も一度に來られては堪らない、嫁は息子が勝手に家へ入れたもので氣に入らぬので出さうと思つてゐたところだから即時千鶴惠を連れて歸れと劍もホロヽに離別迄申渡して追ひ出した、知らぬ土地でのことに途方に暮れてゐるものと判つたので同家でもすつかり同情同夜は一泊させた上、翌日フクさん一人を一先づ移動證明をとりに歸した、十六日フクさんも無事移動證明をもつて歸つたがこれを知つた同町外地引揚者互助會の松本庫造理事は佐乃屋の俠氣に感激、フクさんと洋子さんを家で働いて貰ふとて引取る一方千鶴惠さんの就職口まで斡旋、勝春君は佐乃屋の風呂番として養ふことに決つた、母子はこの情に更生の喜びで働いてゐるとある

生活と文化
短篇　初戀の女
三田村潤

その頃赤村はW大學の商科に籍を置いて眞面目な穏かな日々を迎へてゐた。出席順位がアイウエオ順だつたので彼が一番で二番は大森に壯麗な邸宅を持つ阿比留耕造と云ふブルジョア青年だつた。田舍出の赤村の無邪氣な振舞、木訥な言葉は表面の美觀の競爭をする都會人に物珍らしく感じた。『一度俺んちへ遊びに來いよ』と勸められるまゝに赤村は初夏の日曜日に池上線の雪ヶ谷驛を降りた。田舍町の小賣商人の倅赤村の眼には阿比留の家で見るものふれる物總べてが珍らしかつた。無頓着な阿比留はパンツ一つの裸体で虎の皮のある應接室に現はれやがて型の如く家族の紹介があつたそこで赤村は始めて葉子を見た阿比留の友情は度々赤村をして彼の門をくぐらせた。時には阿比留が留守で葉子が相手をする時があつた。九月の風に菊の花が靜かに咲き初むる頃阿比留は赤村に次の手紙を書かねばならなかつた。

――葉子は君を愛してゐるらしい。然しこの事は俺の考へであつて彼女は何人を求めてゐるかは知らない……とに角君は以前の樣に遊びに來てくれ。そして彼女の良きお友達であつてくれ。――

赤村は驚いた。其の後折角訪ねても耕造が留守の事が多く又居つても葉子が室へ入つてくると耕造は用事を作つては室をはずした。

映畫へも行き二人つきりのハイキングもした。葉子は赤村の下宿を訪ねる樣になつてゐた。葉子は思ひ切つて赤村に總てを打明けた然し赤村は斷はり續けた。身分が違ふの一点張りで――。葉子の姿は次の日も見受けられた。次の日も。又次の日も。初めて葉子の胸に燃えた戀心も赤村の前には無慘にも打破られてしまつた。五日間赤村の下宿に通つた葉子は次の約束を交はして總てをあきらめた。

奥さんをおもらひになつても私が自由に訪ねて行ける樣にすること

赤村はやがて學業半ばに戰ひに狩出されて三年。不思議にも二百余名の中隊のうちで僅か二十八名の生存者に交つて南方の孤島より浦賀に還つた。故國の變り果てた姿をみて彼は男泣きにないた。一度郷里へ落付くと間もなく舊友阿比留の家を訪ねた。彼は赤村と一緒に入營したが滿洲に居つた爲に今だに消息が不明であると三年の間にすつかり成熟し乙女になりきつた葉子の口から聞かされた。

赤村は何か近づき難い或物にうたれて二度と會ふまいと心に言ひきかせながら雪ヶ谷から殺人電車に乘つた。葉子は赤村の初戀の女性ではあつたが――。

――二〇、六、二〇

開放
投書を歡迎す　要望批判結構　紙上匿名可

健保解散を

▼…健康保險問題はその本來の趣旨は社會事業的性質を帶びたもので眞に結構ではあるが、さてその實際はどうも性質とは凡そ正反對に悪評が多い、この原因は、醫師の仁術の文字を忘れたのに大きな原因があることは事實である、然しそればかりであらう？。▼…平の例をとつてみると創立の始めから反對が相當あつたのに、役所の面目にかけても是が非でもつくりあげねばと殆んど强制的に全市を加入せしめたことに大きな原因がひそむのではあるまいか、無理をしたものは當然崩れる運命にあることは他の事についてもハツキリしてゐるのである。▼…保險料はさつぱり納入されない、診療券も活用されない、こんなことでは幾人かの吏員達を失業救濟の意味で雇つてゐるのも同然、それにしてはこの世智辛い新圓生活の折柄、無駄を通り越して道樂といへやう。▼…平より早く結成、二年有半の經歷を持つ小名濱町の組合も本月限り事業停止とし、事實上の解散をすることになつた、矢吹も同樣福島、二本松も解散したとか傳へられる、これからみても健保はどうも日本國民性に合はないといひ得るではないか。▼…どうせ嫌はれて收入も減る一方ならこの際思ひ切つて解散してはどうだらう？、法規の手續上解散が不能ならば事業停止をしてはどうか？それでも飽迄繼續するならその組織なり方法なりを斷乎改善、保險料も市民の納得のゆくやうにしてはどうか？。▼…平市民もこの際自分達のことであるから、やめたいものなら堂々市常會あたりへ提案し一氣に解決をつけてしまつたらよい、敢へて區內會長連及び市當局の善處を切望したいと念ずる（四丁目住人痴愚生）

いわき俳壇
富士勞組句會
席題五月雨

さみだれの庭見る程に病良し　はるみ
さみだるる山路はるかにバスの行く　守
シグナルの赤くにじみてさみだるる　嘉の子
五月雨に蝶の指紋を見るとなく　梓
子を呼べば五月雨の庭歸り來る

藥のことなら……
キクので評判………
ダルマ藥局
小名濱町　電222番

募集
女子從業員（事務及作業）募集
年齢二十歳迄
志操堅實ナ方
履歷書持參午後來店
本社東京都神田區岩井町八
湯本町表町不二工業株式會社
東北出張所
電話五八番